

1 この作品の構成と登場人物、語り手について考えましょう。構成は、時間的に過去か現在かによって、前半と後半に分けることができます。左の太字で記した登場人物のうち、同一人物を線で結びなさい。また、作品の語り手は前半と後半でかわります。「」の中に「私」または「僕」を書き入れなさい。

① **前半** (P202 L1 ～ P204 L10)・・・現在の場面 語り手Ⅱ「」

私
客 (友人・「彼」と表現されているところもある。)

② **後半** (P204 L11 ～ P214 L3)・・・過去の場面 語り手Ⅱ「」

僕
エミール (「彼」と表現されているところもある。)
「僕」の母

2 前半(現在の場面)では、情景や場面の様子が、明暗によって印象的に表現されています。あたりの明暗を表している部分を () の中に書き抜きましょう。○は「明」の部分、●は「暗」の部分です。

● 昼間の明るさは消えうせようとしていた。

● 窓の外には、() が、丘の多い岸に鋭く縁取られて、遠くかなたまで広がっていた。

● もうすっかり暗くなっているのに気づき、

○ 私は、ランプを取ってマッチをすった。

● 外の景色は闇に沈んでしまい、窓全体が () に閉ざされてしまった。

○ 私のちょうは、() を受けて、箱の中から、() 。

○ 彼は、ランプのほやの上でたばこに火をつけ、緑色のかさをランプに載せた。

● 私たちの顔は、() に沈んだ。

● 彼の姿は、() からほとんど見分けがつかなかった。

3 「客」の話は、この作品の題名「客」は、どんな思いを抱いていましたか。それがわかる部分を、現在の場面から書き抜きましょう。
「」にあたります。その思い出に対して、
・ ちょうを見るくらゐ、() を強くそえられるものはない。
・ その思い出が () であるかのように、

・ 自分でその思い出をけがしてしまった。

・ 話すのも () だが、

1 この作品には、「熱情」という言葉が三か所使われています。その部分を書き抜きましょう。

- ・ 僕は、小さい少年の頃、 ()

(P203 L12)

- ・ 今でも、美しいちやうを見るとき、おりおり、 ()

(P205 L3)

- ・ 二年たつて、僕たちは、もう大きな少年になっていたが、僕の ()
にあった。

(P207 L13 ~ L14)

2 「熱情」「情熱」の意味を調べて書きましょう。また、二つの意味を比べ、「熱情」が使われている理由を考えて書きましょう。

① 熱情

② 情熱

③ 「熱情」が使われている理由

3 「僕」がちやうの収集に夢中になっていることがわかる部分を、P204 L11 ~ P205 L2 から探し、 () の中に書き抜きましょう。

全く () になり、ひどく () しま、
他のことはすっかり () しまった

4 「あの熱情」(P205 L3)を言い換えた部分を二か所探して、書き抜きましょう。

- ・ 子供だけが感じるこのできる、あのなんともいえない、 ()
(感じ)

- ・ 少年の頃、初めてキアゲハに ()、あのととき味わった気持ち

5 「幼い日の無数の瞬間」(P205 L7)とは、どんな場所のどんな時間帯ですか。三つ書き抜きましょう。

- ・
- ・
- ・

1 「僕」がちょうを捕らえるときの気持ちを書き抜きましょう。

・ 捕らえる喜びに息もつまりそうになり、

・ 緊張と歓喜

・ (

(と)

(との入り交じった気持ち

2 P205 L16 ～ P207 L5 の段落で、「ちょう」はどんな単語で表現されていますか。五つ書き抜きましょう。

①「僕」にとつての「ちょう」・・・」

「

「

「

「

②「僕」から見たエーミールの「ちょう」・・・」

「

3 P206 L13 ～ P207 L12 の部分で、

① エーミールがどんな少年かわかる言葉を書き抜きましょう。

・ 隣の子供

・ 先生の息子

・ (

(という悪徳をもっていた。

・ 子供としては二倍も気味悪い性質

・ あらゆる点で (

)

・ 専門家

・ こっぴどく (

)

② 「僕」はエーミールに対して、どんな気持ちを抱いていましたか。本文中の言葉を使ってまとめましょう。

4 十二歳頃の「僕」にとって、「熱情はまだ絶頂にあった。」(P207 L13・14)とありますが、「クジヤクヤマム」に対して、どんな気持ちを抱いていましたか。本文中の言葉を使ってまとめましょう。

○ エーミールがクジヤクヤママユをさなぎからかえしたといううわさを聞いてからの、「**ほく**」の行動や**気持ち**を整理しましょう。該当する部分(P207 L13 ～ P211 L3)から適切な言葉を探し、()に書きなさい。

① 僕は、エーミールが不思議なちょう(クジヤクヤママユ)を持っているということを聞く。

← すっかり() (してしまふ。見られるときの来るのが) ()。

② エーミールの部屋に行く。エーミールはいなかったが、部屋の入り口は開いていた。

← せて例のちょうを() ()。

③ 箱の中には見つからなかった。

← まだ() (に載っているかもしれない)。

④ 展翅板のクジヤクヤママユを見つける。細部を残らず間近から眺めたが、有名な() (だけは紙切れの下になって見られない)。

← () (に負けた)。

← 紙切れを取りのけ、() (を見たい)。

⑤ 留め針を抜いた。

四つの大きな不思議な斑点が、挿絵のよりはずっと美しく、ずっとすばらしく、僕を見つめた。

← 斑点が僕を() ()。

この宝を() (という、逆らいがたい) ()を感じた。

⑥ 生まれて初めて() (を犯した。ちょうをエーミールの部屋から持ち出した)。

← () (のほか何も感じていなかった)。

⑦ ちょうを右手に隠して、階段を下りた。

←

⑧ 誰か僕の方へ上がってくるのが聞こえた。

← 僕の () (は目覚めた。自分は () (をした () (をやつたと悟った。
見つかりはしないかという () (に襲われた。

⑨ 本能的に、獲物を隠していた手を () (に突っ込み、ゆつくりと歩き続けた。

← 大それた恥ずべきことをしたという、 () (気持ちに震えていた。

⑩ 上がってきた女中と、 () (しながらすれ違う。

← 胸を () (させ、額に汗をかき、 () (を失い、自分自身に
() (ながら。

⑪ 家の入り口に立ち止まる。

← このちようを持っていることはできない、持っていてはならない。
元に戻して、 () (しておかねばならない。

⑫ 急いで () (、階段を駆け上がる。

← 人に出くわして () (はしないかと極度に () (ながら。

⑬ 一分の後には、またエーミールの部屋の中に立っていた。

⑭ ポケットから手を出し、ちようを机の上に置いた。

どんな () (が起こったかを知る。泣かんばかりだった。

← ↓ クジャクヤママユがポケットの中で () (しまったこと。

() (ことなんか、もう思いもよらなかった。

⑮ () (という気持ちより、自分が () (美しい
ちようを見ているほうが、僕の心を苦しめた。

すっかり元どおりにすることができたら、どんな () (でも () (でも、喜んで投げ出したろう。

1 「彼が、僕の言うことをわかってくれないし、おそらく全然信じようとしないうとうこと」(P212 L2・3)とありますが、「僕」はエーミールに、どういうことをわかってほしかったのでしょうか。

2 P212 L16 ～ P213 L13 の部分で、

① エーミールの言葉を受けて、「僕」の気持ちが端的に表現された部分を書き抜きましょう。

・ 僕は、すんでのところで () に飛びかかるところだった。

・ 僕は () だということに決まっていまい、

② 「僕」は、「エーミール」のことをどのように感じていましたか。それがわかる部分を書き抜きましょう。

・ 彼は () に構え、依然僕をただ () に見つめていた。

・ まるで () (を代表でもするかのように、) (と、) (

を盾に、 () 僕の前に立っていた。

・ 彼は () さえしなかった。

・ ただ僕を眺めて、 () していた。

3 「そんなやつ」(P213 L1)とは、具体的にどういうやつということですか。

4 P213 L14 ～ P214 L3 の段落で、「僕」が悟ったことを書き抜きましょう。

1 「僕」が「ちようを一つ一つ取り出し、指で粉々に押しつぶしてしまった」(P214 L2)のは、なぜでしょうか。

2 「僕」という人物やその行動について、あなたはどのように考えますか。

3 「僕」や「僕」が語った出来事について、「エーミール」や「母」はどう思っていたでしょうか。想像して書きましょう。

①「エーミール」

②「母」

4 現在の場面に登場する「私」は、「客」が語ったこの話をどのように思っているのでしょうか。想像して書きましょう。

○ 教科書の脚注欄に、「注意する語句」として重要な語句があがっています。意味の分からない言葉は、調べて理解しておきましょう。

○ P206 脚注欄「悪徳」の対義語を漢字で書きなさい。

「 」

○ P218 「漢字を確認しよう」の問題を解いて、答えを書きましょう。

新しく習った漢字

1 ① 忍耐力をつける。

「 」

② 損害を賠償する。

「 」

③ 恥辱をそそぐ。

「 」

④ 完璧な演技に嫉妬する。

「 」

⑤ 甲乙をつけがたい。

「 」

⑥ 動きが緩慢になる。

「 」

2 ① 腰を「

」

② 琴線に「

」

③ くぎを「

」

小学校で習った漢字

1 ① こきゅうを整える。

「 」

② 熱戦にこうふんする。

「 」

③ りっぱな器だ。

「 」

④ おさない子供をあやす。

「 」

⑤ 紙のうらに名前を書く。

「 」

2 ① (ア) 「 」 門分野を究める。

(イ) 人々の「 」 敬を集める外科医。

② (ア) 大切な「 」 石をしまう。

(イ) 「 」 に関する本を読む。